造形教育をもりあげる会

憲　章

2019. 7. 20(改定)

「造形教育をもりあげる会」は、横浜国立大学の小関利雄教授の主宰によって、1957年に藤沢市片瀬「向洋荘」を会場に、雨降る中216名の同志が集い開催されました。
当時は、子どもの未来を造形教育に託す機運が高く、五感や感性を大切にした教育が求められていました。しかしながら、主義主張の異なる多種多様な会派が生まれたのもこの時でした。
会派を超えて、真の造形教育のあるべき姿は何か？を問い、造形教育をもりあげていこうとスタートしたのが本会でありました。
これまで、私たちは、先輩諸氏のその意思を受け継いで参りました。
半世紀を超えてなお、神奈川県下をはじめ他府県からの参加者を得ながら、幼・保・小・中・高・大学　そして、アーティストやアトリエ経営者等々、造形教育に関する実践交流や研究などを推進しているところです。
造形教育をもりあげる会は、常に、発足当時の創建を噛みしめ、変化する時代にあってこそ、だれもまだ見たことのない明日をつくる教育を目指してまいりたいと考えています。

〇造形教育をもりあげる会は、子どもを主人公に　未来に生きる子どもの存在を最優先した造形教育を　推進する会です。

〇造形教育をもりあげる会は、“集うがつくる“をキーワードに、造形教育に関心のある方は誰もが参加でき、明日の造形教育をつくる会です。

〇造形教育をもりあげる会は、造形の力をひもとき、実践的な研修・研究を主体とした会です。

〇造形教育をもりあげる会は、学校教育に留まることなく社会の一役を担う会です。

〇造形教育をもりあげる会は、無償で貢献することを主体に　運営している会です。

サラダボール　のように
“みんな違って　みんな味わいのある　造形教育の明日をつくる　素材になろう！”

造形教育をもりあげる会HP　http://www.zoukeimoriage.com/